

東日本大震災 10 年目の復興報告（南三陸）

東北工業大学工学部 都市マネジメント学科

名誉教授 村井貞規

2020年は東日本大震災から10年目の区切りの年になります。これまで数度に渡り都市・交通（道路・鉄道・空港・港湾）等の地震・津波による被害やその復旧・復興の様子を撮影し学科HPに掲載してきました。津波被害の甚大だった宮城、岩手、福島 の3県の沿岸部の被災状況とその後の復興の様子については、海岸線沿いに何回かに分けて縦断し、報告しています。

2016年、17年にはそれまで行きそびれていた福島県の沿岸被災地を県の協力を得て視察し、ようやく3県の太平洋沿岸部の様子を一通り報告することが出来たことや、ちょうど2017年3月に大学を退職し後片付けに追われたこともあって、その後の様子を報告しないまま今日に至りました。

2020年10月12日南三陸町の「震災復興記念公園」が開園したことをニュースで知り、改めて宮城県から岩手県南部の南三陸沿岸被災地域について以前の報告以降の状況を纏めることを思い立ちました。HPでの報告以降も何度か宮城・岩手両県の沿岸地域を訪ねる機会はあったのですが、限られた地域だったこともあり報告するのを躊躇っていました。そこで以前報告した場所で最近訪ねていなかった所を補い前回同様の形で整理してみました。次ページに東松島市から陸前高田市までの撮影地の地図を示します。

今回の訪問で以前報告した場所とほぼ同一の地点の最近の様子を撮影してることが出来ました。嵩上げされたことにより地形がかなり変わってしまい同じ地点とは言えない所もありますが、以前の撮影場所を出来るだけ踏襲したつもりです。今回はさらに高台移転などにより以前とは異なる場所で新たな整備が進んでいる様子も記載しています（東松島市他）。

状況を概観すると、三陸自動車道の整備は急速に進み本年度でほぼ完成を目指しているようですし、嵩上げを終了した商店街や住宅の整備も進んでいます。しかし今回対象とした地域でも海岸・河川の堤防護岸やその近傍、国道やBRTなどの交通系の工事はまだ随所で見られ、恒久的な姿になるまでにはもうしばらく時間がかかりそうです。

掲載した写真の撮影日を写真右下に記載しました（最初の写真にのみに掲示）。前述したように過去いろいろな機会に訪問しているので撮影日はかなりばらついていますが、以前と同様に東松島市から陸前高田市まで北上する形で整理しました。それぞれの地域がどのように変わっていったかが分かるように以前の(2018年より前)写真を入

れたところでは、全てではありませんが、2段組の左右で比較できるように心がけました。それらの写真には撮影日を赤字で示しています。1地点で複数の写真を撮っている場合はこれまで同様右回りに表示しました。最後になりますがその時々で視察にご協力頂いた関係の方々に深甚の謝意を表します。



東松島市

高台に移設された JR 新野蒜駅



(2019 年 11 月 7 日)

連絡通路



野蒜駅連絡通路（造成施設跡地を利用）



野蒜ヶ丘 MAP 鉄道の北側に市街地



かなり住宅の建築が進んでいる



建設中の新野蒜駅



(2014 年 10 月 20 日)

海岸近くの搬出土砂の仮置き場



野蒜駅前の宅地の造成



新野蒜駅



(2015 年 8 月 3 日)

土砂搬出用のベルトコンベアー



野蒜駅付近の造成工事



JR 新東名駅 同じ造成地西部に建設



東名運河沿いの旧野蒜駅



(2011年9月23日)

高架になった仙石線（東名駅西側）



旧野蒜駅ホーム



駅前の東名運河



石巻市
日和山からの眺望



南東 (2020 年 11 月 29 日)



南東 (2011 年 10 月 1 日)



南



南

復興住宅が建てられた



南西



南西

旧北上川，石森漫画館

河川堤防は建設途中



(2020 年 11 月 29 日)

旧北上川，石森漫画館



(2011 年 8 月 29 日)

漫画館奥に架けられ新橋梁



被災した市立病院



左奥は門脇小学校

整地され，間に新たな道路



左奥は門脇小学校

